

令和6年度「魅力あるまちと都市農業に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

都市農業と魅力あるまちづくりに関連する項目について、市民の皆様の関心について幅広く把握することができ、率直なご意見を多数いただきました。今後、横浜の農業や農地が持つ、食料生産の場以外の機能や魅力（体験学習や教育の場、良好な景観形成や癒し・安らぎ、防災機能、雇用の場など）を生かした魅力あるまちづくりを進めるための施策を検討する際の資料とさせていただきます。

2 アンケートを実施した感想

横浜の施策として、市民の皆様が身近に農を感じる場をつくる取組を進めていますが、農体験や教育の場としての活用、新鮮な食材の調達、農的景観の提供以外にも、Q7でお伺いした農地の重要な機能として、「ヒートアイランド現象の緩和機能（70.0%）」や「生物多様性を保全する機能（53.9%）」に多くの期待が寄せられていることは、今後の農業施策の検討にあたり、大きな参考となりました。

また、防災や雇用の場としての機能にも期待を持たれていることも今後の参考とさせていただきます。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

食料生産の場としての農地だけでなく、市民の皆様にとって農がどのようなポテンシャルを持っているのかに対しての率直かつ、多数の具体的なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。今後も、市民の皆様にとって農がより身近に感じられるよう、引き続き努めていきます。

担当：みどり環境局農政推進課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。